



北方領土学習会 平和の尊さを中高合同で学びました

10月13日（火）に本校体育館で「北方領土学習会」を行いました。この学習会は生徒が領土問題についての正しい知識を持ち、その歴史や戦争によってもたらされた悲劇に理解を深めながら、平和の大切さを学ぶことを目的として実施しました。また今回は本校生徒に加え、森中学校1年生にも参加いただき、中高合同による学習会となりました。

最初に島民2世であり、現在、公益社団法人 千島齒舞諸島 居住者連盟 函館支部長である坂上範夫様から講演していただきました。その後2014年に公開された「ジョバンニの島」という戦後の色丹島を舞台にした過酷な運命に翻弄されながらも誇り高く生きる人々を描いた映画を鑑賞しました。

約2時間近い上映時間でしたが、中学生も高校生も最後まで真剣にスクリーンに見入っていました。

この学習会を通し、歴史の教科書で学んだ第二次世界大戦は終戦後も沢山の犠牲を強いられた日本人や外国人の方がいたこと、そして今なお、世界で根絶することのない戦争に対し、争いは暴力で解決するものではなく、尊重と優しさを持って「対話で解決すること」であることを全生徒で確認しました。

今回の学習会で学んだことをさらに「自分事」として相手を尊重し、認め合う心を育てていきたいと思います。



<～生徒からの振り返りアンケートより～（抜粋）>

- ・ 当たり前だと思っていた家や島が奪われることの悲劇や日本でも武力の侵攻が行われていた過去を知った。とても残酷であり、同情もありながら過去を繰り返さない取組が大切だと感じた。（1年男子）
- ・ 戦争が終わっても全ての問題が解決された訳でないことを改めて考えさせられた。登場人物のように日本人も外国人も戦後、転々と住む土地を変え、てもそうしないと生きていけなかった人が沢山いたという歴史について知ることができた。（2年女子）
- ・ これからの未来や平和、そして現在も続く領土問題に対して私たちは、対立ではなく一人ひとりの人間として歴史の事実と痛みを学んで語り継ぎ、武力や感情ではなく、対話による解決を支持していくことが大切だと感じた。（3年女子）



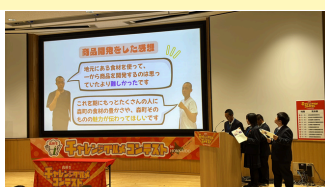
チャレンジグルメコンテスト 森町の食材の魅力を全道にアピール！

10月10日（土）に北海道大学で行われた「第14回高校生チャレンジグルメコンテスト」に本校2年生のチームが予選を勝ち抜き、57チームの応募の中から10チームだけが出場できる本選に臨みました。このコンテストは地元食材を生かしたオリジナル商品を地元企業との協力関係を築きながら、その成果をコンテスト形式で発表する企画です。本校は森町の豊富な食材を生かしたキンパを開発しました。食材には森町産のお米、トマト、ホタテ、豚肉、ほうれん草を選び、生徒達は何度も試作と改善を繰り返しながら、作品を完成させました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、食感のバランスやSDGsにも着目したアイデアなど審査員からお褒めの言葉をいただきました。今回の成果に際し食材を提供いただいた山本農園様、また開発にあたりご協力いただきました森町物産協会、みよい農園、（株）マルモフーズの各皆様に心より感謝申し上げます。



「コンテストに出場して」 2年 佐々木 孝久

自分たちが創作した料理は「キンパ」というお米を海苔で巻いた物です。食材は、ひこま豚、トマト、お米、ほうれん草、ホタテという森町の特産品を使いました。結果は惜しくも入賞できませんでしたが、すごくいい経験ができました。出場にあたり協力していただいた皆様、ありがとうございました。

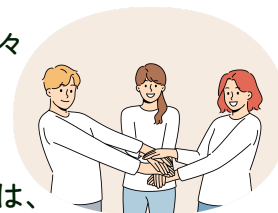


■ 街頭募金ボランティア 森町街頭募金実行委員会の皆さんとの「赤い羽根」

10月3日（土）、本校有志生徒9名が森町街頭募金実行委員会の皆さんと一緒に「赤い羽根共同募金」の街頭活動を行いました。場所は町内イエローグローブ前の敷地で参加した生徒は、秋晴れの空のもと約3時間にわたり、買い物に訪れた方々に、声高く募金の協力を呼びかけました。

この募金は、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や災害時支援に役立てられます。今年は残念なニュースもあった中で、森町の沢山の方が募金活動の目的に対して理解を示していただき「ご苦労様」「寒い中頑張ってるね」と温かい労いと励ましの声をかけていただきました。

この募金活動では、本校は毎年、PTAの保護者の方と本校教員が協力して作成した手作りの「お守り」も募金していただいた方に赤い羽根と一緒に渡しています。生徒にとっては実行委員会の皆さんと同じ想いで協働したこと、そして様々な人の温かい気持ちに触れることができたことなど、大切な経験をする貴重な機会となりました。沢山の人の気持ちが込められて集まった募金が、必要とする方々の元に必ず届いてほしいと願っています。



地域の方との「ふれあい」を通し、終了後に全員で撮影した生徒一人ひとりの顔は、笑顔と達成感に包まれていたのが印象的でした。

「募金活動に参加して」 3年 松居 徠夢 さん

去年も参加しましたが、今年はニュースで報じられていた影響もあり、例年どおりの活動とはいかず、難しさを感じる場面もありました。しかし、そうした状況の中でも温かい言葉をかけて、募金して下さる方がいてとても胸が熱くなりました。森高校生としては今年で最後の参加となりましたが、地域の方々の優しさに触れることができ、本当にやって良かったと感じています。来年以降もこの温かい支援の輪が続いていくことを願っています。



沢山の町民の方が協力してくれました



森町街頭募金実行委員会の方と写真撮影



共同募金運動は今年80周年を迎えました

■ 生徒会新役員 生徒主体に、森高をさらに魅力ある学校へ！

10月1日（木）に生徒会役員認証式を行いました。今回新たに新役員となった7名の1・2年生が楯石校長より認証状が手渡されました。今まで先輩方が築いてきた伝統を守りつつ、森高をさらに魅力ある学校として推進する生徒会になってくれると思います。これからよろしくお願いします！

＜新役員からの抱負＞

- ・生徒会長 野藤 陸人・生徒会長として引っ張っていけるか分かりませんが、みんなに「森高で良かった」と思える学校にしていきたいです。
- ・副会長 吉田 陽太・生徒会役員にふさわしい行動や態度で1年間頑張ります。これからよろしくお願いします！
- ・副会長 村上 遼真・生徒会メンバーと色々なことを話し合い、みんなが楽しめて過ごしやすい学校にしていきたいです。
- ・書記長 木村 煌・色々分からないことや困ることもあるかもしれませんが、よろしくお願いします。
- ・会計 上村 蒼典・今回初めて立候補生徒会になれて嬉しい反面、不安もありますが全力を尽くすのでよろしくお願いします。
- ・会計 對島 蘭・初めての生徒会で右も左も分からず至らない部分もありますが、何ごとも責任を持って取り組みます。
- ・監査委員長 伊藤 陸翔・生徒会としてきちんと目標を定めて最後まで貫き通すので1年間よろしくお願いします。



＜今後の主な行事＞

11/5～13 生徒全員面談	11/5 進学相談会（1年次）
11/9 高P連道南支部研修会	11/12 探究中間発表（1年次 5・6校時）
11/17 命を守る教室（5・6校時）	11/16 ALT来校
11/25～27 後期中間考査	12/2 学校運営協議会（15:00～）

森高 One up!

森高公式
Instagram ↓

森高公式note ↓



←森高キャラクター
「ぼたてん」